

「令和6年度市場取扱品流通状況調査」の結果について

大阪府中央卸売市場

大阪府中央卸売市場管理センター株式会社

大阪府中央卸売市場では、当市場を經由して供給された生鮮食料品等の流通の実態を地域別、業態別に把握するため、令和6年10月5日（土）に市場取扱品流通状況調査を実施した。

1. 調査方法および調査内容

令和6年10月5日（土）を調査対象日とし、その日の取引について、卸売業者・仲卸業者に調査票を配布し回収した。

主な調査内容は、取扱種類ごとの件数、各搬出先の所在地、業態及び販売量などである。

調査票により回答された調査対象日の取扱件数及び数量は以下の表のとおりである。

| | 野菜 | 果実 | 生鮮水産物 | 加工水産物 | 合計 |
|----------|---------|---------|---------|--------|-----------|
| 取扱件数(件) | 1,212 | 764 | 1,534 | 526 | 4,036 |
| 取扱数量(kg) | 587,686 | 188,067 | 249,803 | 90,302 | 1,115,858 |

2. 地域別の搬出状況

数量ベースでみた地域別の搬出先割合は、供給圏(※)39.6%（前年比7.5ポイント減）、供給圏以外の大阪府23.6%（同4.8ポイント増）、他府県36.8%（同2.6ポイント増）であった。

供給圏の内訳は、三島地区19.9%、豊能地区6.1%、北河内地区8.6%、その他供給圏5.0%で、前年比は豊能地区のみ増加した。

他府県の内訳は、滋賀県2.4%、京都府11.7%、兵庫県8.6%、奈良県0.9%、その他の県13.1%であった。滋賀県、京都府、その他の県は前年比で増加した。

種類別では、野菜が供給圏43.0%、供給圏以外の大阪府19.8%、他府県37.2%。果実が供給圏39.4%、供給圏以外の大阪府25.5%、他府県35.1%。生鮮水産物が供給圏35.5%、供給圏以外の大阪府34.9%、他府県29.7%。加工水産物が供給圏30.1%、供給圏以外の大阪府12.5%、他府県57.4%であった。

(注) 各項目を小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の和と合計、総計が合わないことがある。

各表の都道府県・市区町村の順は、都道府県コード・市区町村コードの順にしています。

※供給圏について

生鮮食料品等の流通事情に照らしその区域を一体として生鮮食料品等の流通の円滑化を図る必要があると認められる区域（主たる供給区域）を供給圏としています。

本調査の地域区分は以下のとおりです。

三島地区：吹田市、高槻市、茨木市、摂津市、島本町
豊能地区：豊中市、池田市、箕面市、豊能町、能勢町
北河内地区：守口市、枚方市、寝屋川市、大東市、門真市、四條畷市、交野市
その他供給圏：大阪市（東淀川区、旭区、城東区、淀川区、鶴見区）、東大阪市

3. 業態別の搬出状況

数量ベースでみた業態別搬出先割合は、スーパーが39.6%で最も多く、次いで一般小売業者が38.6%、その他（中央・地方卸売市場等）12.9%、加工業者4.0%、給食業者2.6%、飲食業者2.3%であった。

前年比をみると、一般小売業者9.3ポイント増、飲食業者0.8ポイント増、その他1.1ポイント増に対し、スーパー4.3ポイント減、給食業者4.0ポイント減、加工業者2.8ポイント減であった。

スーパーへの搬出割合を種類別にみると、野菜39.5%、果実50.2%、生鮮水産物40.3%、加工水産物16.3%であった。

（注）各項目を小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の和と合計、総計が合わないことがある。

（注）各項目を小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の和と合計、総計が合わないことがある。

4. 配達状況(仲卸業者)

配達件数の状況を見ると「買出人の自動車まで」が 59.6%と最も多く、次いで「買出人の店舗まで」23.6%、「買出人の配送センターまで」9.5%、「持帰り」5.7%、「その他」1.5%となっている。

「買出人の店舗まで」の割合を種類別で見ると、野菜 27.7%、果実 31.1%、生鮮水産物 20.0%、加工水産物 14.0%の順になっている。

(注) 各項目を小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の和と合計、総計が合わないことがある。

(注) 各項目を小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の和と合計、総計が合わないことがある。

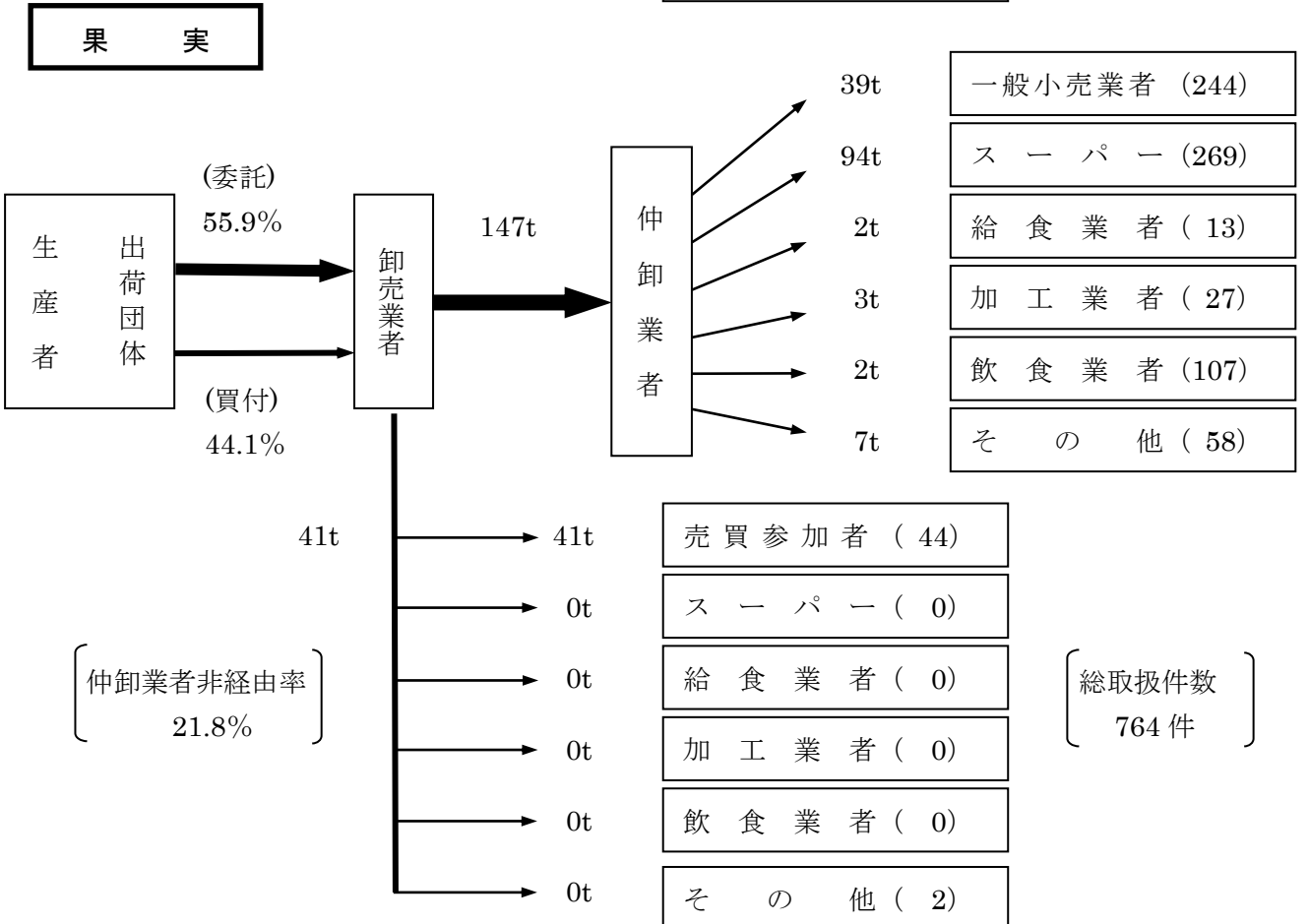
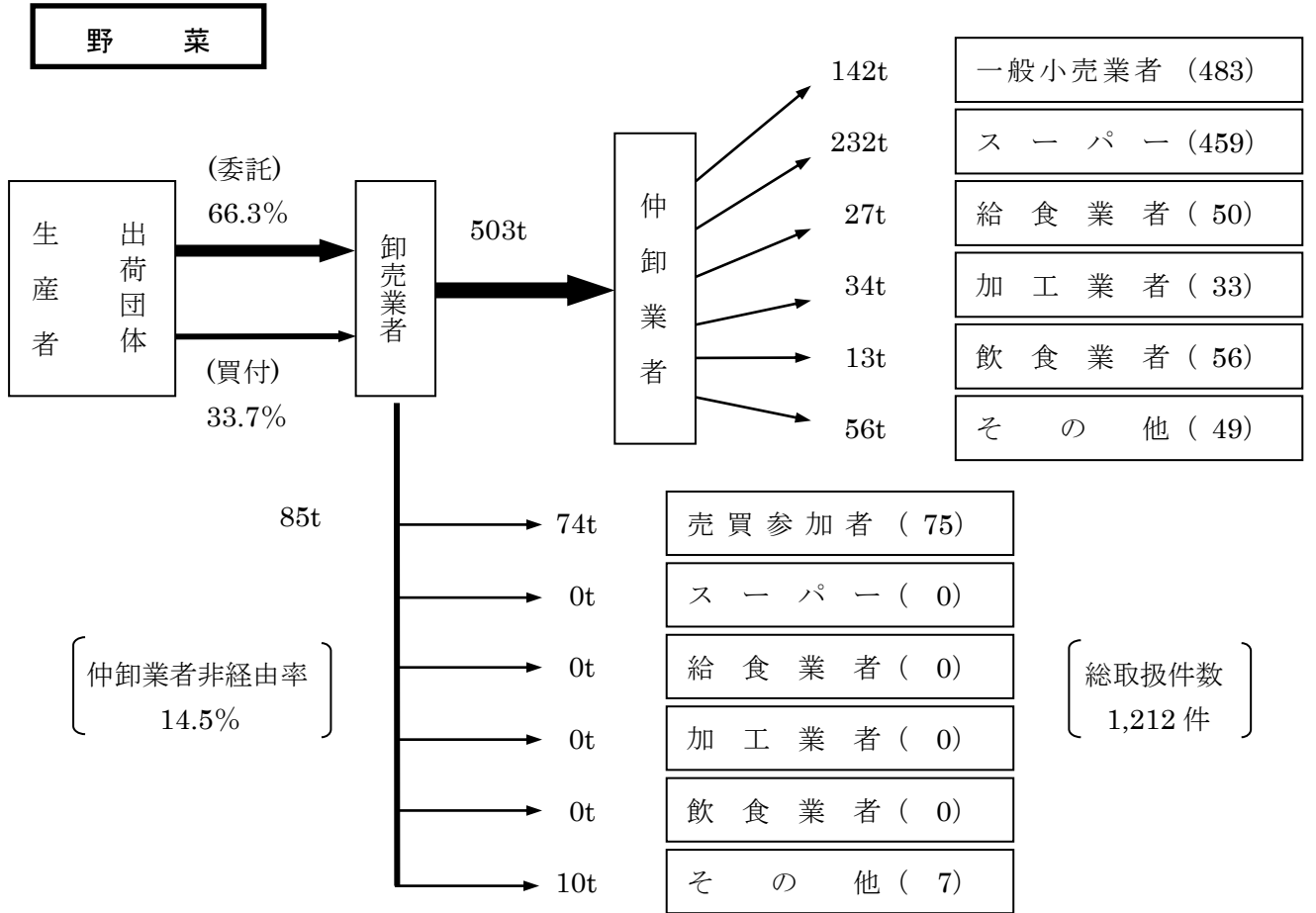
5. 加工状況(仲卸業者)

加工状況を件数から見ると、「加工あり」の割合が 13.6%であった。「加工あり」を種類別にみると、割合の高い順から野菜 18.4%、果実 16.0%、加工水産物 15.0%、生鮮水産物 8.1%であった。

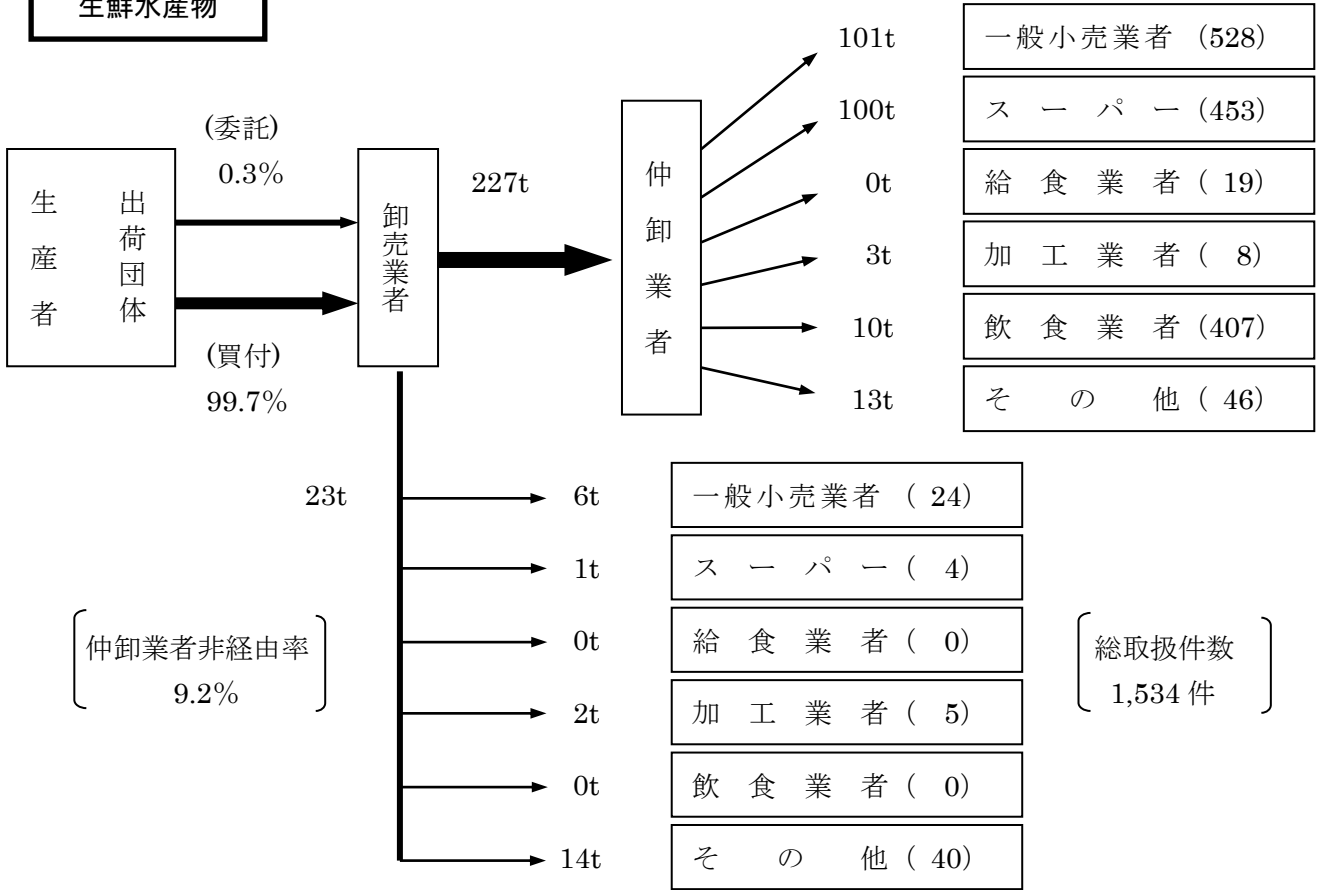
(注) 各項目を小数点第2位で四捨五入しているため、各項目の和と合計、総計が合わないことがある。

調査日における流通経路

- ※1 () 内は、取扱件数
- ※2 委託・買付割合は令和6年10月分の割合
- ※3 t以下は四捨五入(0tは500kg以下の場合あり)
四捨五入のため、各項目の和と合計が合わないことがある。



生鮮水産物



加工水産物

